

4) LIQUID CONTAINING BAG

(1) 6-127561 (A) (43) 10.5.1994 (19) JP

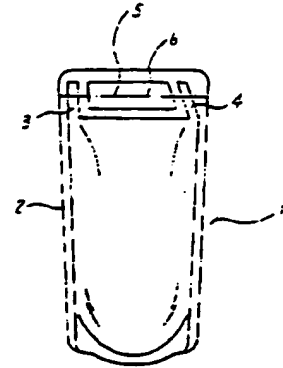
(1) Appl. No. 4-278245 (22) 16.10.1992

(1) SARAYA K.K. (72) ICHIRO SARAYA

(1) Int. Cl. B65D33/36, B65D30/16

PURPOSE: To obtain a liquid containing bag wherein liquid in the bag can be taken out to the end while a stable flow is maintained.

CONSTITUTION: When a bag 1 made of synthetic resin for housing liquid inside is stood, a liquid outlet port 3 and an air port 4 are formed to protrude on a part of a heat sealed part 2 at the upper end of the bag 1. Thus a hole 5 is formed by cutting the heat sealed part 2 between the liquid outlet port 3 and the air port 4. When The heat sealed part 2 at the upper end of the bag 1 is cut across the liquid outlet port 3, the air port 4 and the hole 5 no put the liquid into a refill container, liquid flowing out of the liquid outlet port 3 is substituted by air entering from the air port 4, so that the liquid in the bag 1 can be taken out to the end while a stable flow is maintained.



9) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平6-127561

(43) 公開日 平成6年(1994)5月10日

51) Int.Cl.¹

B 6 5 D 33/36
30/16

識別記号

庁内整理番号

6916-3E

Z 9146-3E

F I

技術表示箇所

審査請求 有 請求項の数 1 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平4-278245

(22) 出願日 平成4年(1992)10月16日

(71) 出願人 000106106

サラヤ株式会社

大阪府大阪市東住吉区湯里2丁目2番8号

(72) 発明者 更家 一郎

大阪府大阪市東住吉区湯里2丁目2番8号

サラヤ株式会社内

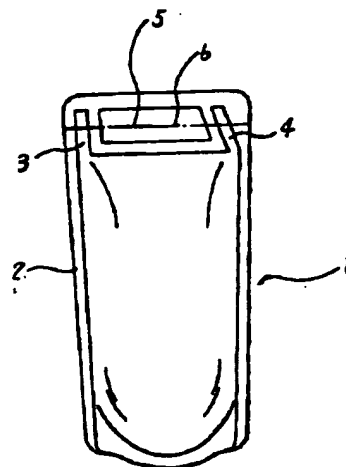
(74) 代理人 弁理士 森本 義弘

(54) 【発明の名称】 液体収納用袋

(57) 【要約】

【目的】 袋内の液体を最後まで安定した流れを保ちながら取り出せるようにした液体収納用袋を提供することを目的とする。

【構成】 内部に液体が収納される合成樹脂からなる袋1を立てた状態において袋1の上端のヒートシール部2の一部に突出するように液体取り出し口3およびエアーク4を形成するとともに、液体取り出し口3とエアーク4との間のヒートシール部2をくり貫いて孔部5を形成し、袋1の上端のヒートシール部2を液体取り出し口3、エアーク4、孔部5を横切るようにカットして袋1から液体を移し替え用容器に詰め替えるとき、液体取り出し口3から出る液体とエアーク4から入る空気が置換され、袋1内の液体を最後まで安定した流れを保ちながら取り出すことができる。



- 1 --- 袋
- 2 --- ヒートシール部
- 3 --- 液体取り出し口
- 4 --- エアーク
- 5 --- 孔部
- 6 --- カット線

【特許請求の範囲】

【請求項1】 内部に洗剤などの液体が収納される合成樹脂などからなる液体収納用袋であって、この袋を立てた状態において袋の上端のヒートシール部の一部に突出するように液体取り出し口およびエア一口を形成するとともに、液体取り出し口とエア一口との間のヒートシール部をくり貫いて孔部を形成し、前記袋の上端のヒートシール部を液体取り出し口、エア一口および孔部を横切ってカットするように構成したことを特徴とする液体収納用袋。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、洗剤などの液体を収納する液体収納用袋に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来から家庭などで使用される洗剤などは合成樹脂製の容器に詰められて販売されているが、例えば容器内の洗剤がなくなると合成樹脂製袋の中に入った詰め替え用洗剤を購入し、この詰め替え用洗剤を空の容器内に詰め替えていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 従来から知られているこの種詰め替え用洗剤などの液体が収納された合成樹脂製袋の殆どは正面から見て矩形を呈し、液体を袋から取り出して空の容器内に詰め替えるとき、袋の上端の1つの角部を鉋などでカットして液体取り出し口を形成した後、袋を手を持って作業を行っており、袋内部の液量が多いときは袋内部への空気の流入（置換）が不足しても液体取り出し口から液体が勢いよく流れ出るが、袋内部の液量が少なくなると袋内部への空気の流入が不足して液体取り出し口の内面同志が密着した状態になり、数箇所の細い口から方向が定まらない状態で液体が流れ出て容器の外にこぼれるという問題があった。

【0004】 本発明はこのような課題を解決するもので、袋内の液体を最後まで安定した流れを保ちながらこぼすことなく取り出せるようにした液体収納用袋を提供することを目的とするものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】 上記問題を解決するために本発明は、内部に洗剤などの液体が収納される合成樹脂などからなる液体収納用袋であって、この袋を立てた状態において袋の上端のヒートシール部の一部に突出するように液体取り出し口およびエア一口を形成するとともに、液体取り出し口とエア一口との間のヒートシール部をくり貫いて孔部を形成し、前記袋の上端のヒートシール部を液体取り出し口、エア一口および孔部を横切ってカットするように構成したものである。

【0006】

【作用】 上記構成により、袋の上端のヒートシール部を液体取り出し口およびエア一口を横切るようにカットし

て袋から液体を移し替え用容器に詰め替えるとき、液体取り出し口から出る液体とエア一口から入る空気が置換され、液体取り出し口の内面同志が密着した状態になるようなことなく、袋内の液体を最後まで安定した流れを保ちながら取り出すことができる。また、液体取り出し口は移し替え用容器の口部内に挿入できるように幅を小さくでき、液体が移し替え用容器の外にこぼれることなく詰め替えることができる。

【0007】

10 【実施例】 以下、本発明の一実施例について、図面に基づき説明する。図1～図3において、1は内部に詰め替え用洗剤などの液体が収納された所謂スタンドバックと称する自立型の合成樹脂製袋で、この袋1は立てた状態において正面から見て矩形を呈し、周囲がヒートシールにより閉じられている。2はそのヒートシール部である。3および4は袋1を立てた状態において上端に形成された液体取り出し口およびエア一口で、これらは袋1の上端のヒートシール部2の一部に突出するように形成されている。5は前記液体取り出し口3とエア一口4との間のヒートシール部2をくり貫いて形成された孔部である。

20 【0008】 さらに詳しくは、前記液体取り出し口3は袋1の一側部に、エア一口4は袋1の他側部に近接して形成されている。6は前記袋1の上端のヒートシール部2に液体取り出し口3およびエア一口4、孔部5を横切るように画されたカット線で、このカット線6に沿って鉋などでカットすることにより液体取り出し口3およびエア一口4が共に開口するようになっている。

30 【0009】 上記構成において、洗剤などの液体が収納された袋1から液体を取り出し、液体を移し替え用容器7に詰め替えるとき、液体取り出し口3から出る液体とエア一口4から入る空気が置換され、液体取り出し口3の内面同志が密着した状態になるようなことなく、袋1内の液体を最後まで安定した流れを保ちながら取り出すことができる。このとき、液体取り出し口3は移し替え用容器7の口部7aの内側に挿入できるように幅が小さくなっており、液体が移し替え用容器7の外にこぼれることなく詰め替えることができる。

40 【0010】 なお、図面に示す実施例において前記袋1は下端部が膨らんだ所謂スタンドバック状になっているが、周囲4辺がヒートシールされて全周にわたって縁部が線状となるように形成されたものでも良い。また、液体取り出し口3は先端が袋1を立てた状態において真上に向き、エア一口4は先端が袋1の一側部の方向に向くように傾斜しているが、袋1を立てた状態において液体取り出し口3およびエア一口4を共に真上に向かせたり、互いに逆方向に向かせたりしても良い。

【0011】

50 【発明の効果】 以上のように本発明によれば、袋から液体を取り出して移し替え用容器に詰め替えるとき、液体

3

4

取り出し口から出る液体とエアークから入る空気が置換され、液体取り出し口の内面同志が密着した状態になるようなことなく、袋内の液体を最後まで安定した流れを保ちながら取り出すことができる。また、液体取り出し口は移し替え用容器の口部に挿入できるように幅を小さくでき、液体が移し替え用容器の外にこぼれることなく詰め替えることができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明の一実施例における液体収納用袋の正面図である。

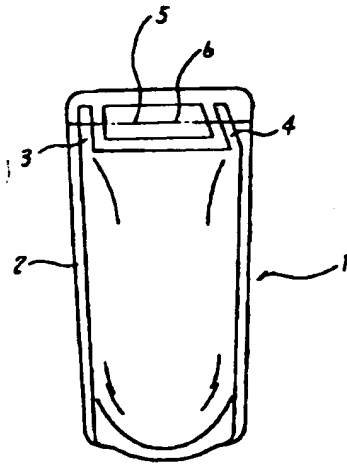
【図 2】同液体収納用袋の上端のヒートシール部をカットした状態を示す正面図である。

【図 3】同液体取り出し時の状態を示す斜視図である。

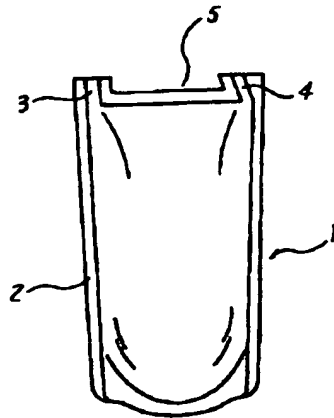
【符号の説明】

- 1 袋
2 ヒートシール部
3 液体取り出し口
4 エアーク
5 孔部
10 6 カット線

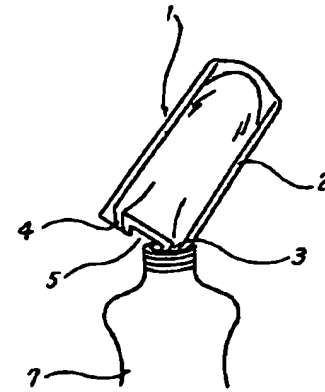
【図 1】



【図 2】



【図 3】



- 1 --- 袋
2 --- ヒートシール部
3 --- 液体取り出し口
4 --- エアーク
5 --- 孔部
6 --- カット線